

支援プログラム

事業所名 タイム子どもデイサービスかのん

作成日 7年1月17日

法人理念	社会福祉法人たいむ共生会は、ハンディキャップに「ハロー」と言えるように、障がいを持つことが辛いことばかりではなくたくさん喜びや多くの学びがあることを知り、障がいがあることで社会的な不利益を受けない「ノーマライゼーションの精神」が生きている地域社会づくりをめざしています。障がいがあっても地域の中で当たり前に従事し、働き、余暇を楽しむことのできる社会とは、子どもも女性も高齢者もすべての人が自分らしく人間らしく、安心して生活することのできる『共生社会』であるはずで、そんな社会を創っていきたくと思います。			
支援方針	障害児が「自立＝自らの人生の主人公として生きていける人になる」ことを最終目的としながら、まずは当該事業所が「居場所」になり、友達・支援員との「かかわり合い」を通し育ち合い、「心身の成長、自主性・社会性の醸成」ができるよう、5領域「健康・生活」「感覚・運動」「認知・行動」「言語・コミュニケーション」「人間関係・社会性」に基づいた支援・活動を行います。			
営業時間	平日 14時 30分から 長期休日 12時 30分から	18時 00分まで 18時 30分まで	送迎実施の有無	あり
活動内容	ねらい	内容	5領域	項目
荷物整理	・持ち物の意識をつける。 ・他人の者と自分の物の区別をつけさせる。	自身の名前が貼られているカゴに荷物を入れる。 かごを定位置に戻す。	「健康・生活」 「認知・行動」	・基本的な生活スキルの獲得 ・感覚や認知の活用
着替え	・着替える場所の認識をする。 ・人前の更衣は恥ずかしいなどを知らせる。	以前までの着替え場所が狭かったので、現在サンルームで着替えを行う。(着脱の自立)	「健康・生活」 「認知・行動」	・基本的な生活スキルの獲得 ・知覚から行動への認知過程の発達
排泄	・トイレを清潔に使えるようにする。 ・自分からトイレに行けるようにする。 ・排泄後の清拭、生理時のナプキン交換等が自分できちんとできるようにする。	男子はトイレに座らずに用を足すことが多いので床などを汚さないように声掛けをしている。排泄が完全に自立していない利用者にはトイレに行くように声掛けをしている。排泄後のペーパーの使い方、生理時のナプキン交換等について自分でできるように声掛けをしている。	「健康・生活」	・基本的な生活スキルの獲得
手洗い・検温	・自己を清潔に保ち感染予防をする。 ・入室時やおやつ時、トイレ後→手洗い→手指消毒をする。(自主性を育む)	自分から手洗いが出来ない時や忘れてしまう時があるので声掛けをしている。毎日体温を計る。(習慣化)	「健康・生活」	・基本的な生活スキルの獲得
おやつ	・食に興味を持つ。 ・好き嫌いの軽減を図る。	集団でおやつを食べて仲間意識コミュニケーションの向上を図る。	「健康・生活」「認知・行動」「言語・コミュニケーション」 「人間関係・社会性」	・基本的な生活スキルの獲得 ・知覚や認知の活用 ・言語の形成と活用 ・集団への参加への支援
タブレット	・順番やルールを理解する	主にそれぞれ好きなYouTubeがあるので順番をじゃんけん決めて時間制限で交代している。	「健康・生活」「認知・行動」 「言語・コミュニケーション」 「人間関係・社会性」	・基本的な生活スキルの獲得・リハビリテーションの実施 ・認知や行動の手掛かりとなる概念の形成 ・集団への参加への支援
・運動・筋トレ ・Dance	・体づくり、姿勢保持 ・音楽リズムに合わせた動きができるようにする。 ・みんなで隔る楽しさを味わう。	好きな物だけではなく、ラジオ体操や筋トレになるDanceを週に2回ほど取り入れています。	「健康・生活」「運動・感覚」 「認知・行動」「人間関係・社会性」	構造化等により生活環境を整える 保有する感覚の活用 感覚や認知の活用 一人遊びから協同遊びへの支援 感覚運動遊びから象徴遊びへの支援
畑仕事・農作業	作物を育て収穫することの喜び、自然との調和、食に興味を持つ、自分で作った物を食べる喜びや楽しみ。	・裏の庭でみんなで作物を育て、手入れは専門の支援員と該当する利用者で行い、日々に必要な水やりは当番制で行っています。	「運動・感覚」 「認知・行動」	保有する感覚の活用 感覚や認知の活用
音楽活動	びんぼん・言葉や音楽でのコミュニケーション(ことば音楽療法)	・言葉や音楽に合わせた反応を促し、言葉・文字に興味を持たせる。発語を促す。仲間と一緒に活動し、人間関係、コミュニケーション向上も目指します。	「健康・生活」「運動・感覚」 「認知・行動」「言語・コミュニケーション」 「人間関係・社会性」	構造化等により生活環境を整える 保有する感覚の活用 感覚や認知の活用 一人遊びから協同遊びへの支援 感覚運動遊びから象徴遊びへの支援 集団への参加への支援
工作活動	アートや工作	・月に2日、工作や絵を描いて手先を使い芸術を楽しむ。(ハサミや工具を使う)	「運動・感覚」「言語・コミュニケーション」 「人間関係・社会性」	感覚や認知の活用 人との相互作用による コミュニケーション能力の獲得 自己理解とコントロールの為の支援 集団への参加への支援
ボール遊び	ルールを守り安全に楽しむ。 適切な力加減を。	・公園または、室内でボールなどを使い遊びます。両手動作(集団遊び、野球、サッカー、風船ゲーム等)	「運動・感覚」「言語・コミュニケーション」 「認知・行動」	姿勢と運動、動作の基本的 技能の向上 人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得 模倣行動の支援 感覚運動遊びから象徴遊びへの支援 一人遊びから協同遊びへの支援 集団への参加への支援
散歩	体力向上を図る。路上のルールや交通ルールを理解する。	・近くの公園にみんなで歩いていきます。	「運動・感覚」 「人間関係・社会性」	身体の移動能力の向上 集団への参加への支援
バランスボール	体力・バランス感覚の向上	・体を動かし適度な運動、脂肪燃焼、バランス感覚の向上を図ります。	「運動・感覚」	身体の移動能力の向上
カード遊び	理解力・記憶力・相互のコミュニケーション	・スタッフが作ったイラストカードやトランプ等で、認知能力を向上出来るように図ります。	「認知・行動」 「言語・コミュニケーション」	感覚や認知の活用 人との相互作用による コミュニケーション能力の獲得
家族支援	*利用者様にとって何が必要か、ご家族様と家庭生活や様子話し合いつつ、連携していきます。 *事業所と、ご家族様だけでなく、学校とも連携していきます。			
移行支援	*中等部の利用者様には、高等部に向けての準備を支援していきます。 *高等部の利用者様には、作業所など次のステップに向けての準備を支援サポートしていきます。			
地域支援・地域連携	*地域の催し物などを通してコミュニケーションを図ります。(ラベンダーまつりや菖蒲地区イベント等) *自事業所以外や学校、病院、相談支援、行政など利用者様に対する連携や調整、支援方法を相談します。 *『僕らのアート展』を開き、地域の方にも利用者、スタッフが作った作品を展示して、作品を通しての交流を図っています。 *『介護等体験事業』(県社協)を実施し、教員免許取得希望の大学生を年間12～13人(1人につき5日間)受け入れています。			
職員の質の向上	*月に一回行われている全体会議での話し合いや研修だけでなく、日常の職員でのミーティングなどで共有しさらにスキルアップできるような研修会を行っています。 *安全衛生委員会・BCP・虐待防止委員会・身体拘束適性委員会・専門委員会での研修を職員に共有して知識や理解を深めています。 *埼玉県放課後連の作成した研修動画を視聴して、多岐の研修を行っています。 *強度行動障害支援者養成研修(基礎・実践)の資格を取得できるように法人で取り組んでいます。			
主な行事等	*季節のイベント行事を実施します。(初詣・節分・夏祭り・ハロウィン・クリスマス会など) *夏休み、冬休みでの公共施設や公園・アスレチックなどへの外出、プラネタリウム見学、工場見学等を実施します。 *保護者会を開催します。			